

★ 水稻のトビイロウンカの発生に注意して下さい！！ ★

8月第3半旬に京丹後市の予察灯（60W）でトビイロウンカの誘殺を確認しました。 令和2年度は、9月初めから府内の広い範囲で本虫の発生及び坪枯れ被害を確認しました。今後の発生状況に注意してください。

1. トビイロウンカの発生状況等

- (1) 8月中旬の巡回調査では、発生を確認していない（－）。
- (2) 8月21日現在、予察灯（60W）への初飛来は、京丹後市で8月13日（＋）、京田辺市及び亀岡市では確認していない（表1）。
- (3) 向こう1か月の平均気温は高いと予想されている（＋）。

2. トビイロウンカの生態

- (1) 成虫には長翅型（羽の長い型、写真1）と短翅型（羽の短い型、写真2）があり、ほ場に飛来する成虫はすべて長翅型で、その後の世代で増殖能力の高い短翅型が出現します。
- (2) トビイロウンカは通常1ヶ月弱で世代を繰り返すため、**急激に増殖し、坪枯れを生じさせる**ことがあります（写真3）。特に、収穫期が遅い**中晩生品種（ヒノヒカリ、京の輝き、祝、新羽二重糯）**では、**被害が拡大することがあるので発生状況に注意**してください。
- (3) トビイロウンカは局所的に発生する傾向があるため、ほ場全体をよく観察し、発生に十分注意してください。特に**株元を注意して観察**してください。
- (4) **低湿田、通風不良田、多肥田等では発生しやすい**ので注意が必要です。

表1 予察灯（60W）へのトビイロウンカ初飛来日

年度	京田辺市	亀岡市	京丹後市
R6	未飛来	未飛来	8月13日
R5	9月20日	9月27日	9月21日
R4	10月17日	未飛来	未飛来
R3	未飛来	未飛来	8月26日
R2	8月4日	8月6日	8月5日
R1	8月8日	9月13日	8月21日

：警報発表年
：注意報発表年

R6は8月21日までのデータ

3. 防除上の注意事項

- (1) 防除の目安は株当たり成幼虫が5頭以上です。
- (2) 農薬の使用にあたっては使用基準を遵守してください。
- (3) 粒剤は種類により施用時期が決まっているので、適期に施用してください。また、粉剤や液剤で防除する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布してください。なお、防除の際には、周辺ほ場に農薬が飛散しないよう十分に注意しましょう。
- (4) 収穫期が迫り、薬剤防除が出来ないほ場は、収穫適期の範囲内で早めに収穫してください。
- (5) 必要以上に早い落水は、坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努めてください。
- (6) 出穂前後に害虫防除を実施したほ場では被害（坪枯れ）が生じる可能性は低いと考えられますが、ほ場によっては密度が高くなることもあるので十分注意してください。



写真1 トビイロウンカ長翅型成虫



写真2 トビイロウンカ短翅型成虫と幼虫



写真3 トビイロウンカによる坪枯れ